

とても暑かった夏も過ぎ、あつという間に涼しくなりました。秋セメに入ってから学生の生活も、落ち着いてきたように感じます。

2020年、東京でオリンピックが開催される事となりました。体育を行う者として、大変嬉しく思います。前回の東京オリンピックの記憶とえば、マラソンです。エチオピアのアベベ選手が、

裸足でトップを走っていました。国籍も人種も越えて、沿道の人々が旗を振って応援していました。オリンピックの五輪が意図している、スポーツで世界がひとつになるという事を、初めて実感しました。

アスリートには、言動も立派な人が沢山いるように思われます。指導者の人格が大きく影響しています。少し前までは、愛のムチという暴力や、パワハラで恐怖を植え付け、絶対的権力者となり、何をしても許されると勘違いしてしまい、道を踏み外した指導者が教育の現場でもいました。その頃は、強くなる為には暴力も容認され、勝つこ

とが優先されていたのだと思います。その様な指導者からは、優秀なアスリートは育たないでしょう。

親は子供の人生の指導者でもあります。しかし、子供は親の指導いでしょうか？友達のような親子関係であれば、子供を叱りにくくなります。やるべき事をやらなかった時、まあいいや！と放つて

おいて、いざ大変な事になるとちやんと言ってくれないからだ、と他人のせいにして逃げってしまう学生や、少し強い話し方をすると、立ち直れない程、落ち込んでしまう学生もいます。学年が進むと、進路や卒業などが関ってきます。大学に行けなくなってしまうたり、

行っているのに単位が取れていない、など、ちよつと相談してみたくなったら、学生相談室を思い出してみてください。相談室が、お役に立てるかもしれません。保護者からの相談も、お受けいたします。お気軽に御連絡ください。